

教員会議（1703回）・研究科委員会（495回）議事要録

日 時 平成29年6月14日（水）13時30分～18時40分

【確認事項】教員会議(第1702回)・研究科委員会(第494回)の議事要録について、開催日時を訂正(4/12→5/10)のうえ、確認された。

◆教員会議◆

【審議事項】

1. 人事について：今後の人事計画について

学類長から、全学から提出依頼が未だ来ていないので改めて7月の教員会議に、標記について提案したいとの説明があり、承認された。

次いでポイント制について簡単な説明があり、人間発達文化学類の具体的な案件として①凍結人事4件の取扱い、②本年度退職者2件の後任の取扱い、③昇任人事とポイント制の兼ね合いがあり、別途、特任教員の取扱いについても検討が必要であるとの説明があった。

2. 財務・施設委：平成28年度決算（案）及び平成29年度予算（案）について（資）

相原委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

3. 教務委：

(1) 平成29年度TA経費の配分について（資）

佐久間委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

(2) 平成29年度非常勤講師計画の変更について（資）

佐久間委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

【報告事項】

1-1. 教育研究評議会：第281回(5/16)

(報告事項)

(1) 平成28年度foRプロジェクト成果報告について（資-掲）

(2) 農学群食農学類（仮称）設置に向けての全学的な協力について（資-掲）

(3) 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について（資-掲）

(4) 平成29年度科学研究費助成事業採択状況について（資-掲）

(5) 社会連携推進機構（仮称）設置検討WGの設置について（資-掲）

(6) FUREの平成28年度活動報告及び平成29年度事業計画について（資-掲）

1-2. 教育研究評議会：第282回(6/6)

(審議事項)

(1) 平成28事業年度に係る業務実績報告書について（資-掲）

(2) 「福島大学教育改革ビジョン2019」について(戻り報告)(資-配布済)本日追加配布有三浦副学長が、教員会議に出席し説明を行った。

(報告事項)

(1) 平成28年度foRプロジェクト成果報告について（資-掲）

(2) 平成28年度卒業生・修了生の就職状況等について（資-掲）

(3) ポーツマス大学（英国）との学術交流協定締結について（資-掲）

(4) アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン）及びハンザ大学（オランダ）及びノーザンブリア大学（英国）との大学間交流協定締結について（資-掲）

(5) その他

・科研費・外部資金の適正執行等に関する説明会（6/14）について（資-掲）

2-1. 運営会議：第92回(5/23)

(1) 研究費の管理・使用に係るルールについて（資-掲配布）

2-2. 運営会議：第93回(6/13)

(1) 福島大学創設70周年記念事業企画（案）について（資-掲）

3. 入試委：平成30年度入学者選抜の実施日程について（資）

鍵和田委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、併せて、課外活動等を実施する際は、他学類の入試日程にも配慮願いたいとの依頼があり、了承された。

4. 教務委：

(1) 平成29年度前期末正規試験の日程等について（資）

佐久間委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(2) 入学前の既修得単位の認定における補足説明について

佐久間委員長から、前回の教員会議で、会津短期大学を卒業後本学の1年に入学した学生の家庭科の単位認定について、出身大学が家庭科の免許認定が出来ない短大の教員免許科目の読み替えについて疑義があったため、教務委員会として確認したが、前回の報告内容と変更はない。他大学で取得した科目を要卒単位の専攻専門科目として認定したままであり、教員免許科目の読み替えを行っていない。本学の科目に読み替えた3科目合計で6単位あるが、本学の専攻専門科目の要卒単位数内で読み替えた。34単位から6単位を差引28単位を本学の専門科目から取得すれば良いことになる。家庭科の教員免許を取得するようになったときは、会津短期大学は、免許認定を受けていない大学であることから、教職専門科目として認定は出来ない。その場合は本学で読み替えた当該3単位の取り直しは必要となってくる。英語を専攻・専門しているので、この種の教員免許に関する問題の発生の可能性はないものと推察される。仮に家庭科の教員免許を希望した場合には、当該科目を履修するよう指導するとの説明報告があり、了承された。

5. 学生生活委員会：平成28年度成績不振学生の調査について

半沢委員長から、標記について、一定の成績規準に該当する成績不振学生に対して、アドバイザー教員に面談と調査の協力依頼があり、了承された。

6. 共通教育委：

(1) 平成29年度共通領域開講コマ総括表について（資）

水澤委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(2) 平成29年度共通領域等担当責任者一覧表について（資）

水澤委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(3) 平成29年度前期共通領域科目の受講動向について（資）

水澤委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

7. 就職委：平成28年度卒業生の進路状況について（資）

加藤委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

8. 国際交流センター運営会議：

(1) 平成29年度秋派遣交換留学派遣学生の決定について（資）

高橋（優）委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(2) 大学の世界展開力事業・タイ・チェンマイ派遣プログラムの派遣学生の決定について高橋（優）委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

9. 将来計画検討委：学類改革案について（中間報告及び意見聴取）（資）

井實委員長から、標記について、別紙資料に基づき説明提案があった。「小学校等機能強化案」の特に撤退教科に関わって、教員免許の需要と供給、福島県教委・地域との関係、他大学の実情、主免と副免との関係、院生の進路、免許交付の本県での特殊性、他県の問題、特任教授の在り方等について意見があった。入試制度については、適正学生数、教員の負担感、不確定要因等について意見があった。その後、中村委員から、今後、クラスを通じて6月23日午後5時まで意見を出して欲しいとの依頼があった。

10. 学類長：

(1) 平成29年6月期の期末・勤勉手当の加算措置該当者について

学類長から、標記について対象者（5級10名、4級5名）を学類人事委員会に提案し了承を得た旨の報告があった。

(2) 平成29年6月期勤勉手当成績優秀者について

学類長から、標記について対象者（勤務成績が特に優秀な職員3名、勤務成績が優秀な職員16名）を学類人事委員会に提案し了承を得た旨の報告があった。

(3) 平成30年度研究専念期間制度適用者の募集について

学類長より、研究専念期間適用希望があれば9月末までに申し出るようアナウンスがあった。

(4) 平成30年度内外地派遣研究員の募集について

学類長より、標記について内地研究員枠0名、外地研究員枠1名あるとの説明があり、外地研究員の希望があれば9月末までに申し出るようアナウンスがあった。

(5) 受託事業の受入について

学類長から、以下について受託研究審査委員会で承認したとの報告があり、了承された。

初澤敏生 相手方：玉川村、事業名：福島大学地方創生連携支援事業業務委託

期間：受入日～平成30年3月31日 事業費：999,313円

◆研究科委員会◆

【審議事項】

1. 将来計画検討委：教職大学院専攻会議に関する申し合わせについて（資）

井實委員長から、標記について資料に基づき作成の経緯等説明提案があり、承認された。

【報告事項】

1. 入試委：平成30年度入学者選抜の実施日程について（資）

鍵和田委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

2. 教務委：大学院生（教職実践専攻）の研究指導員の決定について（資）

佐久間委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

3. 就職委：平成28年度修了生の進路状況について（資）

加藤委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(アナウンス)

①平成30年度入試出題主任者会議の開催について（入試委）

6月28日（水）に開催予定の出題主任者会議について、出題主任または代理の出席に

ついてアナウンスがあった。

②「教養演習Ⅰ・基礎演習」実施概要調べについて（教育課程委）

教養演習Ⅰ・基礎演習担当者に対し、実施概要調査への協力依頼についてアナウンスがあった。

③大学院新入生アンケート調査について（教育課程委）

研究科FDの一環として、大学院新入生の入学動機、学習状況、教育ニーズを把握するためのアンケートを実施するとのアナウンスがあった。

④オープンキャンパスについて（広報・情報管理委）

8月6日（土）のオープンキャンパスについて、模擬授業やL4ロビーでの対応等の担当者や学類説明会に協力してくれる学生（3年生）の人選の協力依頼、及び前日のL4ロビーの準備等への入試広報チームの教員へ協力依頼のアナウンスがあった。

⑤平成29年度冬派遣交換留学生の募集について（資）（国際交流センター運営会議）

平成30年1～3月に出発する交換留学派遣学生の募集した学生について、8月には派遣学生が決定するとのアナウンスがあった。

⑥学生の海外渡航プログラム実施時の手続きについて（依頼）（資）（国際交流センター運営会議）

学類やゼミ・実習等で行われている学生の海外渡航プログラムについて、国際交流センターで把握していないケースもあり、大学で加入しているJCSOS緊急事故支援システムへ登録する関係上、所定の手続きで国際交流センターに知らせていただきたい。同時に、渡航する学生に海外旅行保険に加入するよう指導していただきたいとのアナウンスがあった。

次回の教員会議は、平成29年7月12日（水） 13：30から開催することとした。